

■本書をご活用いただくために

各疾患の記載項目は、以下のような構成になっています。

■ 問診票から

歯科医師は治療を開始する前に、“問診票および問診”から、他科で治療を受けている疾患や既往歴を把握する必要があります。聴取できた全身疾患があれば、まず、本書で検索してその疾患を確認してください。

■ 主訴の例

全身疾患を有する場合、顎口腔領域の症状を訴えることがあり、主訴が歯科疾患に起因するものか否かを鑑別する必要があります。本書で全身疾患によって現れることのある症状を確認してください。

■ Key words

全身疾患を把握するうえで最も重要なポイントとなります。

■ 疾患の概要

各種全身疾患に関するエッセンスを記載しました。

■ 歯科との関係

※執筆者や疾患によって記載項目が異なる場合がありますが、下記のような内容を記載しています。

● 歯科治療

歯科治療と全身疾患の関係で、歯科医師・歯科衛生士がとくに注意しなければならない事項を記載しました。

● 観血的歯科治療

外科的な治療を行ううえで、とくに注意する要点を記載しました。

● 投薬

歯科からの投薬が全身疾患に与える影響や、医科で処方されている薬と併用した場合などの注意点を記載しました。

● その他

歯科治療を行ううえで、その他の注意点を記載しました。

● 照会先・紹介先

患者が有する全身疾患について医科に照会したり、紹介する場合の専門性の高い診療科を記載しました。